

小児科（必修）

1. 到達目標

（１） 一般目標（GIO）

基本的診療業務の中の外来及び病棟研修を主体とし、小児救急対応についても研修を行う。
以下を主な到達目標とする。

- ア 小児の成長・発達と異常に関する基本的知識を習得する。
- イ 小児の年齢に応じた適切な全身の系統的診察を行い、所見がとれる。
- ウ 子どもや家族の心理的・社会的背景に配慮し、良好な関係を築くことができ、また適切な医療面接ができる。
- エ 得られた情報から子どもの状態を把握し、指導医とともに診療計画を立案できる。
- オ 乳幼児検診の意義を理解する。
- カ 虐待疑いの症例に対する対応を理解する。

（２） 行動目標（SBOs）

上記の目標達成のために、幅広い小児疾患に対して多職種でのチーム医療の一員として診療に参加し、小児医療の基礎について修得する。

2. 方略（LS）

（１） 外来診療

- ア 指導医とともに一般外来業務を研修し、ワクチン接種、点滴・採血などの介助や処置を実施する。
- イ 各専門外来（循環器、アレルギー、神経）を研修する。
- ウ 乳幼児検診、予防接種外来に参加する。

（２） 病棟診療

- ア 主治医・指導医とともに入院患者を受け持ち、診療を行う。
- イ 指導医とともに受け持ちの入院患者の入院診療計画書を作成し、診断のための検査、治療の計画を立案する。
- ウ 入院中に行う超音波、CT・MRI 検査、脳波検査などについて検査手技、読影法を学ぶ。
- エ 指導医とともに、家族・本人に対する病状説明を行い、またソーシャルワーカーを含むチームにおいて社会的背景を含めた医療体制の調整を行う。

（３） 初期救急対応

- ア 指導医とともに時間内救急患者の診療の研修を行う。
- イ 上記において、緊急性の高い病態を有する患者について状態を速やかに把握・診断し、治療・処置を行うこと、救急患者について入院加療の必要性を判断し、必要な場合に家族に説明、入院の同意を得ることなどを研修する。

3. 評価（Ev）

全科共通の評価表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて評価

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
朝	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午前	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務
午後	乳幼児健診 神経外来 病棟業務	病棟業務	予防接種外来 病棟業務	循環器外来 病棟業務	アレルギー外来 病棟業務
夕	病棟回診 申し送り	病棟回診 申し送り	病棟回診 申し送り	病棟回診 申し送り	病棟回診 申し送り